

消 火 器 の 部

競 技 内 容

1 出場するチームは、進行係の指示に従い、消火器を点検整備（ノズル、安全栓、容器、充填圧力等）し、指定の位置に配置し、全員発進線に整列する。

2 操作開始

- (1) 発進は警笛の合図（二声は中止の合図）による。
- (2) 発進合図があるまでは、隊員の並び方を変更しない。

3 操作分担

- (1) 隊長は、通報及び応援消火（予備消火器の搬送）とする。
- (2) 1番員は、出火場所の確認及び初期消火とする。

4 操作要領

- (1) 隊長は、1番員が連呼する出火場所を電話で通報後、予備消火器を搬送し、応援消火する。
 - ア 電話通報要領は、119をダイヤルし「〇市〇区〇町〇番〇号（〇郡〇町〇番〇号）〇会社の〇〇が火災（火事）です。」と通報し、審査員の「よし」の合図の後、受話器を置く。
 - イ 通報後、予備消火器を搬送し、直ちに応援消火する（操作は消火器操作開始線を越えて行う。）。
なお、119番通報後、審査員の「よし」から消火器操作開始線を越えるまでのタイムを計測し、当該タイムを搬送タイムとする。
- (2) 1番員は、審査員が指示する出火場所の想定（「事務所」、「倉庫」のいずれか）を確認し、出火場所を連呼（「〇〇が火災（火事）」を2回）した後、コース外に設置された初期消火用消火器を消火器操作開始線を越えて操作し、火点的を倒す。

5 撤収・解散

審査員の「おさめ」の合図（警笛三声）により、隊長は「おさめ」と号令し、各自消火器を持って発進線に戻り整列する。
全員が整列した後に、隊長の指示で解散する。

図 解	審 査 項 目
<p>「まと」設置位置</p> <p>放水線</p> <p>消火器操作開始線</p> <p>初期消火用消火器</p> <p>10m</p> <p>2m</p> <p>出火場所位置表示</p> <p>3m</p> <p>発進線</p> <p>予備消火器</p> <p>2m</p> <p>① 隊</p>	<p>順位は消火タイム及び消火器搬送タイム順とする。ただし入賞等要件は反則のないチームとする。</p>
	<p>反 則 項 目</p>
	<p>① 出火場所の通報をまちがえた。 ※ ただちに訂正すれば反則としない。</p> <p>② ダイヤル（119）をまちがえた。 ※ ただちに訂正すれば反則としない。</p> <p>③ 通報後、受話器を正しく置かなかった。</p> <p>④ 連呼を忘れた。まちがえた。 ※ ただちに訂正すれば反則としない。</p> <p>⑤ 搬送中、消火器を落とした。</p> <p>⑥ 消火器操作開始線を超える（踏む）前に消火器を操作した。</p> <p>⑦ 放水線を踏んで（超えて）放水した。</p> <p>⑧ コースを外れて走行した。</p> <p>⑨ その他審査責任者が必要と認めた事項</p>
	<p>消 火 タ イ ム</p>
	<p>消火タイムは、発進から消火（火点的を倒す）までの所要時間とする。</p>
<p>消 火 器 搬 送 タ イ ム</p>	
<p>消火器搬送タイムは、119番通報後、審査員の「よし」から消火器を消火器操作開始線を越えるまでの所要時間とする。</p>	

その他留意事項

- 1 初期消火用消火器、予備消火器は、水消火器とする。
- 2 初期消火用消火器、予備消火器の充填圧力は0.75MPaとし、水量は2リットルとする。
- 3 使用する水消火器は、大会主催者で用意する。
- 4 隊長が予備消火器で応援消火しても、火点的を倒すことができなかった場合、審査員の指示により、競技を中止する。